イントロダクション

　わたくしは２００１年から、作家村上龍氏の主宰するメールマガジン（Japan Mail Media JMM）に『オランダ・ハーグより』と題してコラムを書き続けてきました。コラムは隔週の金曜日に配信され、１０年で２５０本を越えるまでになりました。いまは単発的になにか事件があればその感想を書いているだけですが、はじめたときには「金曜日版だから週末に向けて軽いものを・・・」という村上編集長の希望で、テーマはさまざま。

　国際問題、欧州政治、経済、文化（食味、スポーツ、それから趣味のジャズ・・・）などについて書き飛ばしましたが、そのなかにいくつか国際機関と国際公務員についても書いたものが残っていました。

　このテの時事的な書き物は時間とともに腐っていくものですが、ここではそのなかでいまでも読むに耐えるものをあつめてみました。

　仕事や勉強に疲れたあととか休日の午後にコーヒーかお酒を片手に（できればスタバやワンカップなんとかの簡易なものでなく）、国際機関って魑魅魍魎な世界だなあとか、国際公務員の仕事ってこんなにおもしろいんだ、春って奴はずいぶん勝手なことを言うなあ、とかなんとか思いながら読んでいただければ幸いです。

春　　具